

## 「水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座」の外来魚駆除活動

2008年1月27日  
水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座

### 1 外来魚駆除活動の概要

- (1) 対象地域 鈴鹿川・中ノ川流域（三重県亀山市、鈴鹿市等）
- (2) 対象地 ため池
- (3) 実施数 年1～2池
- (4) 対象魚 ブラックバス、ブルーギル等
- (5) その他 外来魚を放流しやすい規模の大きい池では枝の多くついた竹で漁礁（釣りよけ）を設置する場合がある。（高塚池、長妻の池）

### 2 駆除活動の実績

| 実施年月                   | ため池名（所在市）     | 備考   |
|------------------------|---------------|--|
| 2003年8月<br>（平成15年）     | 高塚池<亀山市内最大の池> | 駆除イベント「高塚池かいぼり大作戦」として実施<br>・約800匹のブラックバスを駆除<br>・翌年 子供たちによる「おさかな放流式」を実施<br>・翌々年 「啓発用看板お披露目式」を実施 |
| 2004年11月<br>（平成16年）    | 羽若池           | 前年の水抜きでブラックバスが確認されたが、この時の水抜きでは確認されず。   |
| 2005年9月<br>（平成17年）     | 長妻の池          | ブラックバス、ブルーギル、アカミミガメを駆除<br>・翌年 「子供たちによるお魚放流式」を実施  |
| 2006年9月、11月<br>（平成18年） | 9月 菅谷池（上池）    | 下池でブルーギルが確認されたため、上池から実施したが、外来魚は確認できず   |
|                        | 11月 下池        | ブルーギルを駆除   |
| 2007年9月、11月<br>（平成19年） | 9月 入谷池        | ブルーギルを駆除   |
|                        | 11月 奥谷池       | ブルーギルを駆除（平成19年春又は夏に違法放流）<br>12月に保護した在来魚の再放流  |

### 3 主要取組方針

#### (1) 地元との共同実施

地元働きかけ、共同で実施する。（その後の維持管理に重要）

#### (2) 完全駆除

水を抜き流水状態とするか、ポンプ等により水をほぼ完全に抜き石灰散布（とりわけブルーギルが生息する場合）により、外来魚を完全駆除する。

#### (3) 生態系の回復

外来魚を駆除した池は、水位が回復後、保護した魚の放流または近隣に生息する在来魚の放流を行い、魚類の生態系の回復を図る。

### 4 実施上の問題点と展望

- ・ 規模の大きい池の水抜きには、地元外来魚問題に理解のあるリーダーが不可欠。  
（リーダーがいないと、事故の発生論議となり必ずできなくなる。→行政からの働きかけが必要）
- ・ 規模の大きい池の外来魚駆除には地元自治体による取り組みが不可欠。  
＜自治体からの水利組合への働きかけ + 民間団体が協力して実施＞
- ・ 駆除後、地元の子供たちによる手作りで丈夫な啓発用看板を池へアクセスする場所に設置することがその後の外来魚放流抑止に有効。（地元の協力の下、地元の意思を釣り者に伝えること）